

思  
い  
出  
す  
人  
々

西山 厚 全24回

第14回 【めーちゃん】

大学院生の時に、ある高校の非常勤講師となつて、世界史の授業を担当した。生徒のなかに、姿勢のよい女の子がいて、いつも真っ直ぐにこちらを見ている。

教師を片手間でやるのはよくないと思い、一年だけでやめたが、そのあと三十人の生徒から手紙をもらった。そのなかに、その女の子からの手紙もあつた。

彼女は宝塚をめざしていた。その思いが綿々と綴られていた。勢いのある、魅力的な文章だつた。

彼女は合格した。最初の二年間は、宝塚音楽学校で学ぶ。彼女からは毎日のように手紙が届いた。レッスンの合間に私へ手紙を書くことを、彼女は日課にしていた。勢いのある、誰にもまねできない文章だつた。

やがて、卒業公演に招待された。カルメンを演じる十九歳の彼女は、舞台の上で誰よりも輝いていた。

彼女の誕生日は二月八日。調べるとその日の誕生日はフリージアだつたので、楽屋にフリージアの花束を届けたこともある。彼女の愛称は「めーちゃん」。

黒塗りの八寸に盛る白魚のいまだ幼し如月八日  
芳賀綾さんの短歌を見て、めーちゃんだと思つた。